

令和2年7月1日

ピュアソン製「次亜塩素酸水」をご使用の皆様へ

株式会社ピュアソン
専務取締役 品質管理部長
石田智洋



「新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価」（最終報告） に関する見解書

この度は、弊社商品をご購入賜り、ありがとうございます。心より御礼申し上げます。首
題の件につきまして、以下に見解を述べさせていただきます。

【最終報告のポイント】

- ① pH≦6.5の次亜塩素酸水は、新型コロナウイルス（COVID-19）に対して、
「有効塩素濃度 35mg/L（=35ppm）で有効」と確認できた。
- ② 空間噴霧に関しては、今回、安全性等の評価を行わなかった。

【最終報告に対する見解】

5月29日に、有効性評価の中間発表がなされましたが、発表内容を深く理解せずに、各
種メディアが誤った認識に基づく報道を行い、一般消費者の皆様にも、多大な混乱とご心配を
招いたことは、皆様ご承知の通りです。

今回の最終発表では、pH≦6.5の各種次亜塩素酸水に対して検証された結果、「帯広畜産
大学及び QTEC の検証試験で 99.99 %以上の抗ウイルス効果を確認している 32ppm 以
上のうち、国立感染症研究所の検証試験で 99.9 %以上の効果を確認している「35ppm 以
上」を有効と判断する。」との結論が出されております。

これまでの各種メディアの誤った認識による報道で拡散された、次亜塩素酸水の効果に
対する誤解を解消する形の発表となった点は評価させていただいております。

弊社を交えた、経済産業省・厚生労働省との「次亜塩素酸水勉強会」において、経済産業
省の担当官から、「今回の検証では『次亜塩素酸水』の効果の評価に集中し、安全性評価等
に関しては、次のテーマしたい」という旨の説明があり、空間噴霧についての言及は行わな
いという結論に至ったものと推測しています。

次に、本来消毒効果が高いはずの、殺菌剤（次亜塩素酸水やカチオン界面活性剤）よりも、
一般的な食器洗剤・家庭用洗剤の主成分である界面活性剤の方がウイルスの感染力価の低
減効果が高いという、非常に興味深い結果となっております。

これは、新型コロナウイルス自体の特殊性を示す検証結果だと理解しております。

この検証結果に関しては、ご注意いただくべきポイントが幾つかあります。

- ① 新型コロナウイルスに効果があったと発表された、食器洗剤や家庭用洗剤に用いられる界面活性剤は、新型コロナウイルス以外のウイルス、細菌、真菌に対しては、極めて効果が低いという点です。様々な微生物感染の対策に用いるには、適していないことに関しては、注意が必要です。
- ② 界面活性剤の場合、水洗い・水拭きしないと残留成分（ヌルヌル）が分解されずに残留するため、使用用途が極めて狭いにご理解ください。次亜塩素酸水は、作用後、自己分解して、次亜塩素酸として残留せず、安全な成分に分解されるため、広い用途にご使用いただけます。

【ピュアソンの今後の動きについて】

今後の商品ラベル等の表記に関しまして、経済産業省との意見交換に基づき、発表された望ましい表示例を基本とし、これまで表記できていなかった情報の記載や、ロット番号ではなく、製造年月日の表記への変更など、弊社ナショナルブランド品、OEM 供給品ともに、順次改定を進めて参ります。

【その他の発表に対する見解】

今回の正式な「有効性評価」と同じタイミングで、経済産業省から「厚生労働省・消費者庁と合同で、新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について取りまとめました」という啓発のための非公式な発表がなされ、「関連資料」という複数の文書が添付されております。この中に、「化学的根拠に基づかない、理解不足と考えられる記述が幾つかあります」ので、以下に指摘致します。

1) 「次亜塩素酸水」の使い方・販売方法等について（製造・販売事業者の皆様へ）

1. 有効な「次亜塩素酸水」の範囲と使い方の注意

流水でかけ流すとき：有効塩素濃度 35ppm 以上のもの

拭き掃除に使うとき：有効塩素濃度 80ppm 以上のもの

今回の nite の検証結果の中に、上記内容の根拠となる記載はありません。あくまで、このポスターを作成した担当官の主観に基づくものと思われます。次に、この中で、「手指等への影響、空間噴霧の有効性・安全性は評価していません。」と明記されています。にもかかわらず、

2) 「新型コロナウイルス感染症対策」の中で、

③空間のウイルス対策

注) まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。

と、記載されていますが、従来の厚生労働省の（他の従来の消毒剤と同じとみなした）見解の繰り返しで、検証結果に基づかない、根拠を持たない内容です。

弊社の顧客である、百数十施設（入居者数合計 10,000 人以上）の、高齢者介護施設での 24 時間空間噴霧の実績（現在も使用中）からも、弊社製次亜塩素酸水の安全性は、十分に確認されており、安心して加湿器を用いてご使用ください。

今後も、「次亜塩素酸化学工業会」として、行政に働きかけて、次亜塩素酸水の空間噴霧に対する偏見を払拭して参りたいと考えております。

3) また、「新型コロナウイルス感染症対策」の中で、

① 手指のウイルス対策

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。

という、とんでもない見解が記されています。これでは、食中毒菌やノロウイルス等の対策には極めて不十分です。食品調理施設では、長年、「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき、薬用石けんでの手洗いに加えて、アルコール消毒の徹底が、厚生労働省により指導されています。

しかも、それだけではノロウイルス対策ができないため、極めて多くの食品製造工場で、機能水（電解次亜塩素酸水）による、手洗い後の殺菌処理が、既成事実として行われています。

4) 「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項

② 十分な量の次亜塩素酸水で表面をヒタヒタに濡らす

アルコールのように少量を吹きかけるだけでは効きません。

③ 少し時間をおき（20 秒以上）、きれいな布やペーパーで拭き取る。

本記述に関しても、次亜塩素酸のウイルスに対する CT 値データ、アルコールの CT 値データという明確な学術的根拠と、相反する指導になっています。

今回の実験結果のように、次亜塩素酸水の効果が低下するケースは、肉や魚の血液が付着したまま板くらいだと思われます。このような条件下では、血液をしっかりと洗い流した後、次亜塩素酸水を処理されることをお勧めします。

5) 「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項

安全上の注意

人が吸入しないように注意してください。人がいる場所で空間噴霧すると吸入する恐れがあります。

この記述も、「手指等への影響、空間噴霧の有効性・安全性は評価していません」という発表内容と矛盾しています。要は、一般的な従来の消毒剤の注意事項を、記載されているに過ぎず、次亜塩素酸水に対する記述としては、極めて不適切です。

- 6) 「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項
流水で掛け流す場合、有効塩素濃度 35ppm 以上のものを使いましょう。
② 次亜塩素酸水の流水で、消毒したいモノに 20 秒以上掛け流す
次亜塩素酸水の生成装置から直接、流水掛け流しを行ってください。
アルコールのように少量かけるだけでは効きません。

この文面も、全く的外れで、ほとんどのウイルス、細菌は、アルコールの少量噴霧では、効果がありません。また、生成装置の設置されていない環境では、次亜塩素酸水の使用が制限されることになり、極めて不適切な記述と言えます。

上述のような、適正とは考えられない発表などもあり、まだ、一部混乱を招いておりますが、弊社としては、正しい次亜塩素酸水の情報を発信することで、次亜塩素酸水の製造と普及に努めて参ります。

以上